

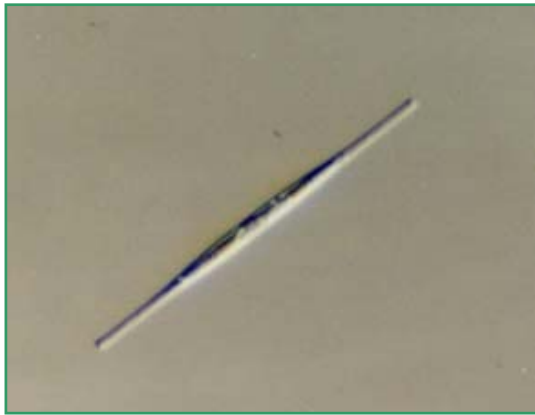
# 瀬田川プランクトン調査結果速報

～ 第47報 ～

滋賀県立衛生環境センター  
琵琶湖水質担当  
平成15年2月24日

## 1. 最も数が多かった種類（優占種）

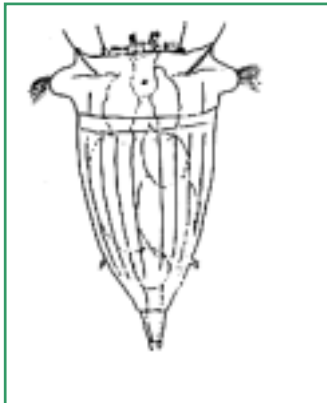
植物プランクトン第1優占種



*Nitzschia acicularis*  
(ササノハケイソウ)  
珪藻類

殻は細長く針状になり、両端は尖る。  
条線は微弱で見えにくい。

動物プランクトン第1優占種



*Synchaeta oblonga*  
(ナガマルドロワムシ)  
輪虫類

体は円錐形で足は短く、先端の爪は微小である。体長は225～345 μm。体側は縦の条線があるのが特徴である。

コメント

植物プランクトンは、ササノハケイソウと呼ばれるニッチア アキクラリスが最も多かった。この珪藻は、平成13年度の調査では7回優占種となった。殻の両端は長く伸びている。一中腐水性水域に見られる種とされている。動物プランクトンは、先週に引き続きナガマルドロワムシが多く見られた。

## 2. 見つかった主なプランクトンとその数（個体数）

### (1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体 / l)
輪虫類	<i>Synchaeta oblonga</i>	190

第 2 優 占 種		個体数 (個体 / l)
肉質虫類	<i>Arcella vulgaris</i>	35

\* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

# 瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター

琵琶湖水質担当

平成15年2月24日

第47報

## (2) 植物プランクトン

(網) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Ochromonas</i> sp.	10		
(黄鞭) <i>Mallomonas</i> sp.	10		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	90		
(珪) <i>Rhizosolenia longiseta</i>	10		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	39		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	250		
(珪) <i>Synedra acus</i>	5		
(珪) <i>Synedra</i> sp.	50		
(珪) <i>Navicula lanceolata</i>	20		
(珪) <i>Gomphonema</i> sp.	10		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	540		
(渦) <i>Gymnodinium helveticum</i>	10		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	100		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	160		
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	30		
(緑) <i>Golenkinia radiata</i>	10		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	20	1.5	0.9
(珪) 珪藻綱	1014	75.4	57.7
(渦) 渦鞭毛藻綱	10	0.7	19.7
(褐) 褐色鞭毛藻綱	260	19.3	19.4
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	40	3.0	2.3
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細胞 数	1344	総体積	1.02E+06
種 類 数	16	( $\mu\text{m}^3$ )	

注1) 細胞数の単位は(細胞 / ml)

ただし \* 印の種は群体数(群体 / ml)

注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種  
数字は各綱ごとの占有率(単位: %)

注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。